

## 授業評価アンケート結果(2011 秋)

担当者：杉本憲彦

科目名：物理学 II(実験を含む)「気象の物理」

実施時期：秋学期最終講義日

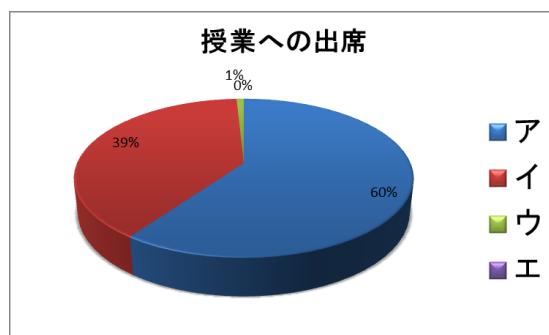
科目設置：日吉

履修者数：155 名

回収数：122 名

### 1. 授業への出席

ア 全部出席した	73 人
イ ほとんど出席した(80%程度)	48 人
ウ あまり出席しなかった(50%程度)	1 人
エ ほとんど出席しなかった	0 人



### 2. 授業について

A=そう思う

B=どちらかといえばそう思う

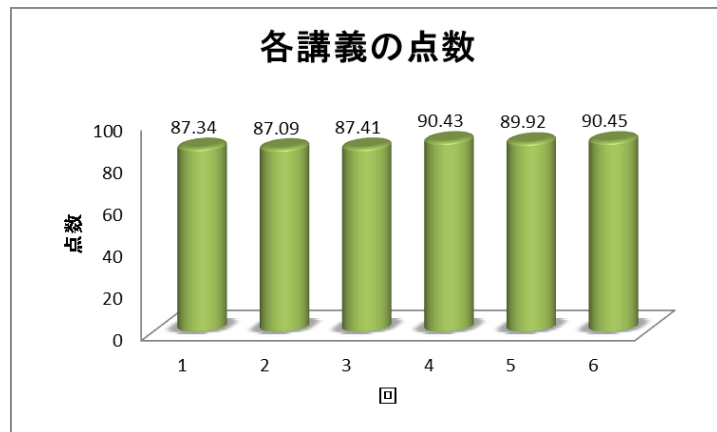
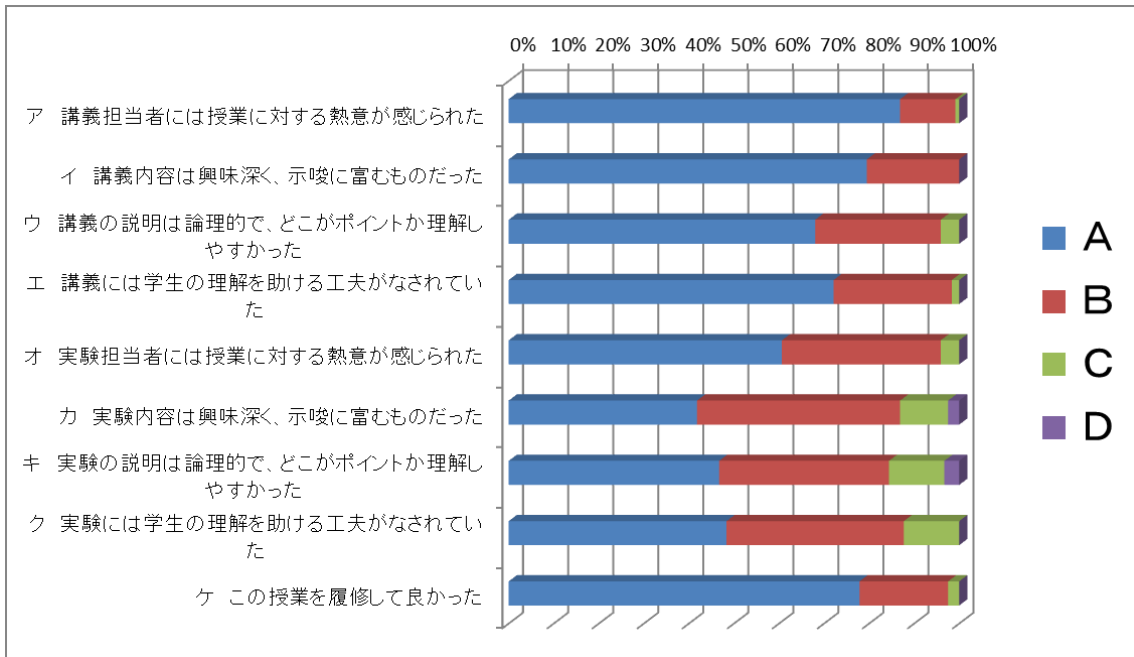
C=どちらかといえばそう思わない

D=そう思わない

	A	B	C	D
ア 講義担当者には授業に対する熱意が感じられた	106	15	1	0
イ 講義内容は興味深く、示唆に富むものだった	97	25	0	0
ウ 講義の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	83	34	5	0
エ 講義には学生の理解を助ける工夫がなされていた	88	32	2	0
オ 実験担当者には授業に対する熱意が感じられた	74	43	5	0
カ 実験内容は興味深く、示唆に富むものだった	51	55	13	3
キ 実験の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	57	46	15	4
ク 実験には学生の理解を助ける工夫がなされていた	59	48	15	0
ケ この授業を履修して良かった	95	24	3	0

### 3. 各回の講義内容について(100 点満点)

	平均点	人数
第 1 回「大気の成り立ち」 - 地球の気温はどうやって決まる? -	87.3	116
第 2 回「地球規模の流れ」 - 低気圧が西風に流されるしくみ -	87.1	116
第 3 回「雲と降水」 - 雲が浮かび、雨が降る理由 -	87.4	116
第 4 回「気象よもやま話」 - 日々の天気舞台裏 -	90.4	114
第 5 回「明日の天気」 - 天気予報の限界とカオス -	89.9	116
第 6 回「気候の変動」 - 地球温暖化と現代物理学 -	90.4	114



#### 4. 自由記述(代表的なもの)

- おもしろい(6人)、身近でわかりやすい(4人)、内容が充実(4人)、楽しい(4人)
- ためになる話だった(3人)、丁寧に教えてもらった、クイズがよかった
- おもしろかったし二限続きでも乗り切れた、今後も物理を続けたい
- 実験が難しい(7人)、気象の実験をしてほしい、助手の先生が良かった
- 時間が足りない(2人)、たくさん詰め込みすぎ、休んだ時のレポート増がきつい

#### 5. 講評

昨年度や前期同様、講義全般に関して、概ね好評であった。一方で、講義と実験で設問を分けたが、実験の評価は相対的に低い。後期の実験は現代物理を扱う内容が多いため、実験と講義の間に分野の隔たりがあり、さらに難しく感じたようだ。新たに実験を開発中であるが、今後は講義と実験の関連性により配慮していきたい。受講者にとって、気象や地球環境を少しでも考える機会になってくれたらと思う。